## 蒲田リハビリテーション病院

病 床 数: 180床

(全病棟回復期リハビリテーション病棟)

診療科目 : リハビリテーション科

長 :前原 正明 (心臓血管外科)

住 所 :東京都大田区大森西4丁目14番5

施設基準

回復期リハビリテーション病棟入院料1

脳血管疾患(I),運動器疾患(I)

廃用症候群(I)

#### <令和4年度実績>

提供单位数: 8.25单位

(全国平均: 6.46单位)

在宅復帰率: 95.2%(全国平均:77.9%) 自宅復帰率: 84.0% (全国平均:66.0%)

疾患別割合:脳血管疾患 45.9 %

運動器疾患 41.0 %

廃用症候群・その他 13.1 %

#### グループ26病院のノウハウを生かしたリハビリテーション

- ○365日(土日祭日、お盆やお正月)のリハビリ実施
- ○最大3時間(9単位)/日のリハビリ実施
- ○リハビリでの「出来るADL」と、生活での「しているADL」の一致

## 患者様の生活場面に応じたリハビリを行います



屋内だけでなく社会に復帰する為の屋外リハビリ環境を作ってます



## 仕事もプライベートも充実

#### 病院内・リハ科の取り組み

- 1. 離床活動 積極的な離床促進に対する関わり
- 2. 健康教室
  - 業者を交えた患者教育 etc
- 3. 専門的なチームによる関わり NST・心臓・シーティング・DS・装具等
- 4. 学会参加・研究発表の推奨

環境・費用面のサポート体制も充実

#### リハビリテーション科の特徴

- 1. 生活密着型早出・遅出体制
- 2. チーム制(階別担当制)
- 3.充実した新人教育 プリセプター制

担当指導者2名が教育・指導

新人勉強会

リスク管理・基礎勉強会・実技指導

- 4. 回復期以外の分野も経験可能 外来・訪問・地域
- 5.年間を通して多くの勉強会開催 院内勉強会・外部講師講習会・地域勉強会

#### 研修制度

- 1. 研修制度
  - ○中央研修
  - ○海外研修

(アメリカ/ドイツ/デンマークetc)

#### 福利厚生

- 1. 院内旅行
  - (国内・海外・日帰り)
- 2. 全国にある保養所やホテル、 スポーツ施設の利用が可能

## 理学療法

## 2024年 ウェルウォーク導入

## 対象者に合わせた関わり

心身機能・身体構造に対する機能訓練

- ○徒手療法
- ○物理療法
- ○装具療法
- 〇ロボット療法
- ○自主トレーニングの推奨



#### 生活場面に活かす動作訓練

- ○病棟や院内で他部署と協力し、積極的な歩行介入
- ○早出・遅出時間帯での動作訓練(歩行、排泄、更衣動作etc)

#### 退院後の生活を想定した活動訓練

- ○家屋調査
- 〇外出訓練 買い物・バスや電車などの公共交通機関の利用
- ○自転車の走行訓練
- ○他病院と連携したドライブシュミレーター訓練

## 地域との関わり

総合事業(地域)

○健康講話・体力測定



## 教育体制の充実

#### 豊富な院内の勉強会

- ○物療勉強会
- ○装具勉強会
- ○マシン・機器勉強会
- ○外部講師勉強会(著名な講師を招いて年間複数回実施)

#### 学会発表

- 〇日本理学療法学会
- ○関東甲信越ブロック 理学療法士学会 等

## スタッフ関連

スタッフ内訳

○100名(男性:64名 女性:36名)

○平均年齡:27.7歳

#### 実務経験年数

○10年目以上: 25名 ○6~9年目: 18名

○3~5年目 : 24名

○1~2年目 : 33名



# 作業療法

取り組み

リハビリ関連機器

## 化粧療法



美容学校と連携

## 3Dプリンター



## 運転支援



実車評価まで実施

## MELTZ



#### 就労支援



地域連携・ジョブコーチ5名

#### **IVES**



## 教育体制の充実

○院内勉強会

高次脳機能評価と解釈

○外部講師勉強会

(MOHO・自動車運転 等)

- ○生活行為向上マネジメント履修推奨
- 〇学会発表

## 地域との関わり

大田区高次脳機能障害者連絡会

○高次脳機能障害に対する支援施設・サービスの紹介

近隣大学との共同研究

○上肢訓練機器使用における効果

#### 総合事業

- ○地域住民の銭湯利用にむけて
- ○地域ケア会議

### スタッフ関連

スタッフ内訳

○52名 (男性: 22名 女性: 30名)

○平均年齡:27.0歳

#### 実務経験年数

○10年目以上:8名 ○6~9年目:13名 ○3~5年目:17名

○1~2年目 : 14名



# 言語聴覚療法

## 摂食嚥下機能

## VE·VF実施



## 高次脳機能

## PCを用いた訓練



### 嚥下の物療機器





## 実動作での

評価·訓練





## 嚥下の評価機器



## 就労·運転支援





## STの介入対象

脳血管障害: 約98%

廃用症候群などその他の疾患: 約2%

### 訓練領域(成人)

高次脳機能障害・失語症:40~50%

嚥下障害:50~60% 構音障害:20~30%

## 充実した教育体制

○各検査の指導

(直接指導・動画を使用した指導)

- ○各物療機器や検査機器の操作方法指導
- 〇チェックリストを使用した包括的な指導

## スタッフ関連

スタッフ内訳

〇23名 (男性: 3名 女性: 20名)

〇平均年齡: 27.0歳

#### 実務経験年数

〇10年目以上:3名

○6~9年目 :5名

○3~5年目 :8名

○1~2年目 : 7名



## 新入職スタッフからのコメント

## 入職した動機

#### PT:女性(福岡県出身)

「スタッフの方々の雰囲気の良さと患者さんの笑顔の 数がすごく多いと感じたからです。」

#### OT:女性(茨城県出身)

「人数が多く教育制度もあり、他職種間・患者様とスタッフ間の雰囲気がよかったからです。」

#### ST:女性(神奈川県出身)

「STの人数が多く、心強いと思ったからです。」

## 入職してみて

#### PT:男性(福岡県出身)

「先輩やプリセプター(担当指導者)とも気軽に報告・連絡・相談が出来るので働きやすいです。」

#### OT:男性(神奈川県出身)

「先輩と相談等話しやすい環境で、入職できて良かっ たです。」

#### ST:女性(宮城県出身)

「雰囲気が明るく、職種関係なく困っていると声をかけてもらえるので、とても働きやすいです」

## 今後の目標

#### OT:男性(東京都出身)

「知識・技術共に身に付けつつ、業務も早く覚えて、1 スタッフとして積極的に行動していきたいです。」

#### ST:女性(群馬県出身)

「早く業務を覚えて、患者様の気持ちに寄り添うことが できるように精一杯努力していきたいです」

